

ヒューマンコミュニケーション (Human Communication) 高齢者との交流から学ぶ (Collaborative Learning with Aged People)

(歯((歯)1年))

日野出 大輔・教授/大学院ヘルスバイオサイエンス研究部, 竹内 祐子・助教/大学院ヘルスバイオサイエンス研究部

2単位 後期 木, 集中 5~8, 10/6~12/22

【授業の目的】 歯科医療系学生における人間力を高めるため、早期から学生自らのコミュニケーション能力を向上させ、ホスピタリティ・マインドを体得し、将来患者と向き合える歯科医療従事者を育てる一助とする。

【授業の概要】 この授業では、学内講義・演習と学外体験学習(高齢者交流学習)を柱とする。学内講義・施設説明を受けた後、学外の養護老人ホームにおいて高齢者と8回にわたり交流し、教育管理ネットワークシステム(エデュネット)を用いて学習内容を記録・提出する。また、学内演習(中間ふり返り授業・最終ふり返り授業)を行い、体験学習を通して得られた内容について、意見交換する機会を設ける。

【キーワード】 対人コミュニケーション, 高齢者, ホスピタリティ・マインド

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【到達目標】

1. 基本的マナーを守る。
2. コミュニケーション力を養う。
3. ホスピタリティ・マインドをもって対応する。
4. 相手を受容して適切に行動する。

【授業の計画】

1. 授業説明, 講義「生と死, 老いを考える」, 高齢者施設説明
2. 高齢者交流学習 1(学外体験学習)
3. 高齢者交流学習 2(学外体験学習)
4. 高齢者交流学習 3(学外体験学習)
5. 高齢者交流学習 4(学外体験学習)
6. 学内演習(中間ふり返り授業)
7. 高齢者交流学習 5(学外体験学習)
8. 高齢者交流学習 6(学外体験学習)
9. 高齢者交流学習 7(学外体験学習)
10. 高齢者交流学習 8(学外体験学習)
11. 学内演習(最終ふり返り授業)

【教科書】 適宜プリントを配布する。

【参考書等】 [参考資料]

【成績評価の方法】 出席状況(40%)とレポート(60%)によって総合的に評価する。

【再試験の有無】 原則として行なわない

【受講者へのメッセージ】 人間関係が希薄な現代においては、年齢を超えた人間関係作りや、ヒューマン・コミュニケーション(お互いの考えや気持ちを理解しあうこと)を意図的に学ぶことが必要である。人と関わるには、相手の立場に立って心の有り様を想像し、相手の心に寄り添った行動をすることが大切である。そのための学外体験学習を行う。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221145>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 日野出 (088-633-7543, hinode@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL

Human Communication

Collaborative Learning with Aged People

(歯((歯)1年))

Daisuke Hinode · PROFESSOR / INSTITUTE OF HEALTH BIOSCIENCES, Yuko Takeuchi · ASSISTANT PROFESSOR / INSTITUTE OF HEALTH BIOSCIENCES

2 units 後期 木, 集中 5~8, 10/6~12/22

Target) 歯科医療系学生における人間力を高めるため、早期から学生自らのコミュニケーション能力を向上させ、ホスピタリティ・マインドを体得し、将来患者と向き合える歯科医療従事者を育てる一助とする。

Outline) この授業では、学内講義・演習と学外体験学習(高齢者交流学習)を柱とする。学内講義・施設説明を受けた後、学外の養護老人ホームにおいて高齢者と8回にわたり交流し、教育管理ネットワークシステム(エデュネット)を用いて学習内容を記録・提出する。また、学内演習(中間ふり返り授業・最終ふり返り授業)を行い、体験学習を通して得られた内容について、意見交換する機会を設ける。

Keyword) 対人コミュニケーション, 高齢者, ホスピタリティ・マインド

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) [関連科目]

Goal)

1. 基本的マナーを守る。
2. コミュニケーション力を養う。
3. ホスピタリティ・マインドをもって対応する。
4. 相手を受容して適切に行動する。

Schedule)

1. 授業説明, 講義「生と死, 老いを考える」, 高齢者施設説明
2. 高齢者交流学習 1(学外体験学習)
3. 高齢者交流学習 2(学外体験学習)
4. 高齢者交流学習 3(学外体験学習)
5. 高齢者交流学習 4(学外体験学習)
6. 学内演習(中間ふり返り授業)
7. 高齢者交流学習 5(学外体験学習)
8. 高齢者交流学習 6(学外体験学習)
9. 高齢者交流学習 7(学外体験学習)
10. 高齢者交流学習 8(学外体験学習)
11. 学内演習(最終ふり返り授業)

Textbook) 適宜プリントを配布する。

Reference) [参考資料]

Evaluation Criteria) 出席状況(40%)とレポート(60%)によって総合的に評価する。

Re-evaluation) 原則として行なわない

Message) 人間関係が希薄な現代においては、年齢を超えた人間関係作りや、ヒューマン・コミュニケーション(お互いの考えや気持ちを理解しあうこと)を意図的に学ぶことが必要である。人と関わるには、相手の立場に立って心の有り様を想像し、相手の心に寄り添った行動をすることが大切である。そのための学外体験学習を行う。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221145>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ Hinode (+81-88-633-7543, hinode@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL